

## みんなと共に成長していく子

本校では、教育目標「自ら学び、個性豊かに国際社会に生きる児童・生徒の育成」を達成するために、「ちがいを認め合い、共に生きていく子」というめざす子ども像を掲げ、小学部ではキッズタイム、中学部では部活動を実施しています。

小学部のキッズタイムは、「異年齢の交流活動を通して、上級生としての自覚や自信を育てる」「様々な交流活動を通して、全校児童の仲間意識を育てる」ことをねらいとし、お弁当交流やお掃除交流、そして昼休み遊び交流を計画しています。しかし、現在は新型コロナウイルス感染症防止を考慮し、昼休み遊び交流を月に1回実施しています。1チームは20名以下で、1年生から6年生までが混合でチームを編成しています。遊び交流については、ドッジボールやボーリング、ハンカチ落とし等、事前に6年生のリーダーと5・6年生の副リーダーがみんなでおもしろい遊びを考え、13のチームがそれぞれの遊びを楽しんでいます。子どもたちからは、「お兄さんが優しく教えてくれた。」や「初めてボーリングをして楽しかった。」等の声が聞こえてきます。この異年齢の交流活動を通して、遊ぶことの楽しさを味わう

と共に、優しさや社会性、自覚、協力性などを育てています。

中学部の部活動は、新型コロナウイルス感染症防止に伴い約1年半実施できませんでした。しかし、ようやく6月2日の部活動ガイダンス、そして、次の日からの体験入部がスタートし、6月23日の本入部を経て本格的に始動しました。活動日は、水曜日と木曜日の週2回です。57人の生徒たちは、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、サッカー部、バドミントン部、バレーボール部、野球部、音楽部の7つの部活に分かれて、爽やかな汗を流すと共に部活動を通して学ぶ礼儀や感謝の気持ち、自分を見つめる態度、努力の大切さなどを学んでいるようです。久しぶりの部活動に参加することができた生徒からは、「体を動かしてすっきりする。」や「練習してもっとうまくなりたい。」等の声が聞かれ、部活動を通して、もっといろいろなことを学んで欲しいと思っています。

今後も、それぞれの学習で交流を深めながら目標を追求し、児童生徒が互いの良さを認め合い、共に成長していくように指導してまいります。

